

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【宮前中学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策			
目標			策
知識・技能	令和4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、国語・数学の「知識・技能」において3pt向上させる。	⇒	スタディサプリや小テスト、ドリルパーク等を活用し、国語では文章読解力や語彙力を増やす。数学では基本的な計算等の反復・習熟を行う。その際、生徒の学習履歴を確認して、質問教室や授業の復習に反映していく。
思考・判断・表現	令和4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、国語・数学の「思考・判断・表現」において2pt向上させる。	⇒	「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」における「協働」を重点とした学習活動を行う。例えば、情報を整理し思考を深める。図表を活用し比較分類をさせる。原因と結果を考えさせる。論理的な理由づけをする。目的と相手を意識して書き、分かりやすく伝える等の活動に取り組む。
主体的に学習に取り組む態度	令和5年度さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を88%以上にする。(R4は約85%)	⇒	全ての授業において、ICTの活用を進める。Teamsの機能やミライシード、ジャムボードなどを活用した授業を行い、生徒の主体的な学習や協働的な学習を実現し、課題解決に多く取り組ませる。

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	調査結果分析(2月) ①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告 結果提供(7月) 調査結果分析(7～8月) ①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

④ さいたま市学習状況調査結果・分析	
中1	
中2	
中3	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)			
目標			策
知識・技能		⇒	
思考・判断・表現		⇒	
主体的に学習に取り組む態度		⇒	